



《「モナ・リザ」公認模写作品》1974年 作家蔵

# 齋藤吾郎の描けば描くほど

モナ・リザ模写から赤絵へ

2017.7.22(土)→9.3(日) 刈谷市美術館1階 KARIYA CITY ART MUSEUM

開館時間=9:00-17:00(入館は16:30まで) 休館日=毎週月曜日 入場料=一般300円、学生200円、中学生以下無料

\*身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。入館の際に手帳をご提示ください。

主催=刈谷市美術館 後援=愛知県教育委員会 協力=西尾の抹茶「松鶴園」

図版:[左上]《三河刈谷の万燈祭》部分 2016-2017年 刈谷市美術館蔵/[左下]《豊浜の鯛まつり》部分 2012年 個人蔵

[右上より]《豊川稲荷 大祭》部分 2012年 個人蔵/《屋根の上の七五三》部分 1975年 高浜市やきもの里かわら美術館蔵/《モナ・リザ模写から》部分 2012年 個人蔵/[右下]《乳母車のおばあさん》部分 1988年 作家蔵

# S A I T O H G O R O H



《モナ・リザ模写から》2012年 個人蔵





《三河一色 大提灯祭》2006年 個人蔵

# 齋藤吾朗の描けば描くほどモナ・リザ模写から赤絵へ

齋藤吾朗さん(1947年— 愛知県西尾市生まれ)は、赤を大胆に使った鮮やかな色彩やダイナミックな構図で、温もりやユーモアあふれる独特な作品=赤絵を描き続けています。

1973年、20代半ばの吾朗さんは念願のパリへ渡ると、自身の絵を模索しながらヨーロッパ各地をスケッチしてまわり、パリ・ルーヴル美術館では、《モナ・リザ》の日本人初となる公認模写を果たします。この貴重な体験をきっかけに、自分の描くべきテーマは「母なる故郷」にあると確信すると、帰国後は、ふるさと・三河地方の風土や、そこに生きる人々を描きはじめます。「赤絵」の赤は、三河の赤土や夕陽、炎、血など、万物の根源につながる「いのちの赤」です。そこには、生きる喜びや受け継いでいくことの大切さといった普遍的なメッセージが込められており、吾朗さんの眼差しは、故郷を原点に、私たちが生きる現代社会、人間の本质へと向かっていきます。

本展覧会では、初期の《モナ・リザ》模写を含むこれまでの代表的な油彩画をはじめ、刈谷を題材した新作、愛知の祭りや風物を描いた版画など約60点を展示します。さらに、懐かしい昭和の日用品や道具など、吾朗さんが長年蒐集してきた膨大なコレクション「ガラクタ美術館」から、選りすぐりの品々もご紹介。三河発の「赤絵」の軌跡をたどり、愛知の魅力を再発見しながら、あなたの「ふるさと」を感じてみてください。

## 会期中のイベント

### 1. スペシャル対談「齋藤吾朗×つボイノリオ」

地元ラジオでおなじみのつボイノリオさんをゲストにお迎えます。長年親交のあるお二人のエピソードのほか、「赤絵」や愛知の魅力についてお話しいただきます。

7月30日[日] 13:30-15:00

会場：刈谷市中央図書館 3階大会議室(美術館隣)

定員：190名(要整理券)

◎聴講無料。整理券は、12:00から美術館1階で配布(先着順)

◎対談終了後、参加者は入場券(当日以外の半券も可)の提示で再入場可(当日に限る)

### 2. ワークショップ「本格的な人物画に初チャレンジ!」

**要事前** 吾朗さんから絵画のいろはを教えてください。キャンパス地にアクリル絵具で描きます。  
**申込**

#### ①親子で肖像画を描き合おう!

8月19日[土] 10:00-15:30

対象：親子(年齢不問) 定員：10組(20名)

#### ②家族を描こう!

8月20日[日] 9:30-12:00

対象：小学生 定員：20名

#### ①②共通

講師：齋藤吾朗さん

会場：美術館2階研修室 参加費：300円/人

### 3. 吾朗さんのギャラリートーク

会場を巡りながら、それぞれの作品に込められた思いなどをお話しいただきます。

7月22日[土] 10:00- 14:00-

8月5日[土]・20日[日]、9月2日[土] 13:30-

◎1時間程度、申込不要、参加無料(ただし当日入場券が必要)

### 4. 学芸員のギャラリートーク

7月26日[水]、8月9日[水]・23日[水] 13:00-

◎40分程度、申込不要、参加無料(ただし当日入場券が必要)

### 5. ワークショップ「抹茶石臼挽き体験」

**要事前** 抹茶の原料「碾茶」を石臼で挽いて抹茶を作ります。  
**申込** お抹茶を点てて味わう体験もあります。

8月10日[木] ①11:00- ②13:00- 40分程度

講師：若杉秀樹さん(松鶴園代表取締役)

会場：茶室・佐喜知庵(美術館隣)

定員：各30名 参加費：300円

協力：西尾の抹茶「松鶴園」

## 2、5の申込方法

往復はがきの「往信用裏面」に、イベント名(5は時間帯も)、参加者氏名(ふりがな)、保護者名(2-②のみ)、年齢(学年)、住所、電話番号を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を記入してお申込みください。定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。

申込先：〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館

しめきり：2=8月8日[火] 5=7月28日[金] 必着



《描けば描くほど》2002年 愛知県美術館蔵



《半田亀崎 潮干祭》2011年 個人蔵



《三河刈谷の万燈祭》2016-2017年 刈谷市美術館蔵



《うどんを食べるおばあさん》1980年 作家蔵



## 交通案内

[電車]JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分\*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分/[車]名古屋方面より：国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km\*無料駐車場あり(60台)

# 刈谷市美術館

## KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511

http://www.city.kariya.lg.jp/museum/

近くのミュージアム 高浜市やきものの里から美術館の企画展「みえるような、みえないような」  
スポーツ情報 2017年7月8日[土]-9月18日[月・祝] 高校生以上200円、中学生以下無料

## 特別呈茶 西尾産のお抹茶を愉しむ

吾朗さんの故郷・西尾は日本一の抹茶の産地。現地から取り寄せた上質な抹茶「雅の司」でおもてなしします。(一服300円、和菓子付)

会期中の13:00-15:30

お休み：8月10日[木]-16日[水]、

美術館休館日、茶室貸切時

会場：茶室・佐喜知庵(美術館隣)

協力：西尾の抹茶「松鶴園」